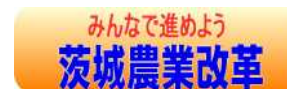


農 研 速 報



平成 27 年 10 月 8 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室
 〒301-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
 TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稻の生育状況（10 月 5 日現在、水戸市）

地域名	移植時期	対 平 年 収 量 比 (%)	作柄概況
茨城県 (水戸市)	5 月 1 日	(あきたこまち) 89	<p>5 月の平均気温は平年並～高く、多照で推移したことから、「あきたこまち」、「コシヒカリ」とともに、分けつ初期の生育は平年より 6 日程度早まった。その後、6 月第 4 半旬～7 月第 2 半旬にかけて低温・寡照傾向であったため、生育が遅れ、幼穂形成期は両品種ともに平年より 1～4 日程度早い生育で推移した。</p> <p>出穂期は、「あきたこまち」で平年と比べて 1 日早く、「コシヒカリ」で 5 日早かった。</p> <p>登熟期間中は、7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬で、平均気温が平年と比較して 1.9℃高く、日照時間は平年比 136%と多照で推移した。その後、8 月第 3 半旬～9 月第 1 半旬は、平均気温が平年と比較して 2.0℃低く、日照時間は平年比 38%と寡照で推移した。</p> <p>「あきたこまち」は、出穂後の高温により登熟が早まり、成熟期は平年より 5 日早くなった。「コシヒカリ」は登熟前半が高温、後半が低温で推移し、登熟期間は平年より 1 日短くなり、成熟期は平年より 6 日早くなった。</p> <p>【あきたこまち】</p> <p>平年と比較して、稈長は短く、穂長はやや短い。穂数は少なく、一穂粒数はやや少ないことから、㎡当たり粒数は少ない。平年と比較して、千粒重はやや軽く、登熟歩合はやや高く、精玄米重は平年比 89%と少なかった。稈長が短く、精玄米重が少ないため、倒伏程度は平年より小さかった。背白粒、基部未熟粒及びその他未熟粒(表 2 参照)の発生が多く見られ、整粒歩合は平年より低かった。</p> <p>【コシヒカリ】</p> <p>平年と比較して、稈長は短く、穂長は長い。穂数はやや少なく、一穂粒数は多いことから、㎡当たり粒数はやや多い。千粒重は軽く、登熟歩合は平年並で、精玄米重は平年比 100%であった。その他未熟粒の発生が多く見られ、整粒歩合は平年より低かった。</p>
		(コシヒカリ) 100	

	5 月 11 日	(コシヒカリ) 109	<p>5 月の平均気温は平年並～高く、多照で推移したことから、分けつ初期の生育は平年より 5 日程度早まった。幼穂形成期は、7 月第 1～2 半旬が低温・寡照傾向で推移し、7 月第 3～6 半旬が高温・多照傾向で推移した。</p> <p>出穂期は平年と比べて 2 日早かった。登熟期間中は、8 月第 1～2 半旬は高温・多照傾向で推移し、その後 8 月第 3 半旬以降は低温・日照不足が続いた。低温・日照不足により、登熟日数は平年より 3 日長くなり、成熟期は平年より 1 日遅かった。</p> <p>平年と比較して、稈長は並み、穂長はやや長い。穂数はやや多く、一穂粒数は多いことから、㎡当たり粒数は平年より多い。千粒重は平年並み、登熟歩合は低く、精玄米重は平年比 109%と多かった。</p> <p>玄米外観品質は、乳白粒、心白粒、腹白粒、その他未熟粒が多く見られ、整粒歩合は平年より低かった。</p>
--	----------	----------------	--

表 1 生育、収量、収量構成要素

(作物研究室)

移植時期	品種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	7/15	±0 (7/15)	-1 (7/16)	8/19	-5 (8/24)	-5 (8/24)	79.2	87 (91.1)	87 (90.8)	17.2	99 (17.4)	96 (18.0)	472	83 (572)	86 (549)	0.5	-4.0 (4.5)	-2.6 (3.1)
	コシヒカリ	7/23	-3 (7/26)	-5 (7/28)	8/31	-6 (9/6)	-6 (9/6)	86.3	91 (95.0)	91 (94.6)	20.0	107 (18.7)	108 (18.6)	464	90 (514)	95 (487)	0.5	-2.5 (3.0)	-1.7 (2.2)
	ふくまる	7/16	-2 (7/18)	- (-)	8/18	-9 (8/27)	- (-)	81.7	91 (89.7)	- (-)	19.3	103 (18.8)	- (-)	481	114 (423)	- (-)	0.5	-2.5 (3.0)	- (-)
5/11移植	コシヒカリ	7/30	+2 (7/28)	-2 (8/1)	9/11	+1 (9/10)	+1 (9/10)	88.6	102 (86.5)	99 (89.9)	20.8	109 (19.0)	107 (19.5)	437	99 (440)	104 (422)	1.5	+0.5 (1.0)	-0.1 (1.6)

移植時期	品種	精玄米重			一穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (百粒/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
5/1移植	あきたこまち	61.4	89 (68.7)	89 (68.9)	69	96 (72)	96 (72)	324	79 (412)	82 (394)	21.0	102 (20.6)	97 (21.6)	84.0	98 (85.6)	105 (80.0)
	コシヒカリ	67.9	96 (70.7)	100 (68.0)	85	105 (81)	109 (78)	395	95 (416)	104 (381)	20.5	96 (21.3)	94 (21.7)	84.6	102 (82.8)	100 (85.1)
	ふくまる	72.9	90 (81.2)	- (-)	74	106 (70)	- (-)	356	120 (296)	- (-)	24.0	97 (24.8)	- (-)	85.7	94 (90.8)	- (-)
5/11移植	コシヒカリ	67.7	95 (71.2)	109 (62.1)	83	101 (82)	110 (75)	363	101 (359)	115 (317)	22.9	102 (22.5)	102 (22.6)	80.6	88 (91.9)	92 (88.1)

() 内は前年または平年の実数値を示す。

表2 玄米品質

移植時期	品種	玄米外観品質																	
		整粒 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			基部未熟粒 (%)			背白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	79.8	-12.3 (92.1)	-8.0 (87.8)	0.3	-0.4 (0.7)	-4.7 (5.0)	0.3	-0.4 (0.7)	-1.2 (1.5)	0.3	+0.3 (0.0)	+0.1 (0.2)	0.8	+0.4 (0.4)	+0.4 (0.4)	3.0	+2.9 (0.1)	+2.8 (0.2)
	コシヒカリ	80.6	-6.6 (87.2)	-6.9 (87.5)	0.8	+0.2 (0.6)	-1.6 (2.4)	0.9	-4.1 (5.0)	-2.5 (3.4)	0.5	+0.4 (0.1)	+0.3 (0.2)	0.5	+0.4 (0.1)	+0.2 (0.3)	0.0	±0 (0.0)	-0.2 (0.2)
	ふくまる	81.8	-10.2 (92.0)	- (-)	1.5	+0.4 (1.1)	- (-)	0.5	+0.2 (0.3)	- (-)	0.2	+0.1 (0.1)	- (-)	0.1	±0 (0.1)	- (-)	0.0	±0 (0.0)	- (-)
5/11移植	コシヒカリ	84.1	-7.9 (92.0)	-7.2 (91.3)	0.6	+0.2 (0.4)	-0.4 (1.0)	2.8	+1.8 (1.0)	+1.1 (1.7)	1.2	+0.9 (0.3)	+0.8 (0.4)	0.2	±0 (0.2)	-0.1 (0.3)	0.2	+0.2 (0.0)	+0.1 (0.1)

移植時期	品種	玄米外観品質					
		腹白粒			その他		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	0.5	-1.3 (1.8)	-0.3 (0.8)	15.6	+11.4 (4.2)	+11.4 (4.2)
	コシヒカリ	1.9	-0.5 (2.4)	+0.7 (1.2)	14.9	+10.3 (4.6)	+9.9 (5.0)
	ふくまる	1.3	+0.4 (0.9)	- (-)	14.8	+9.3 (5.5)	- (-)
5/11移植	コシヒカリ	2.2	+0.4 (1.8)	+1.7 (0.5)	8.9	+4.6 (4.3)	+3.8 (5.1)

【耕種概要】

- 1) 苗質：稚苗
2) 植え付け本数：5本/株
3) 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/㎡
 ふくまる 18.5株/㎡
4) 基肥施用量
あきたこまち・ふくまる N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 2.0 : 1.8 (kg/a)
コシヒカリ N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 1.5 : 1.4 (kg/a)
5) 追肥時期及び追肥施用量
(5月1日移植) あきたこまち 6月25日 N : K₂O=0.3 : 0.3 (kg/a)
 ふくまる 6月 29日 N : K₂O=0.4 : 0.4 (kg/a)
 コシヒカリ 7月10日 N : K₂O=0.3 : 0.3 (kg/a)
(5月11日移植) コシヒカリ 7月17日 N : K₂O=0.3 : 0.3 (kg/a)

【平年値】

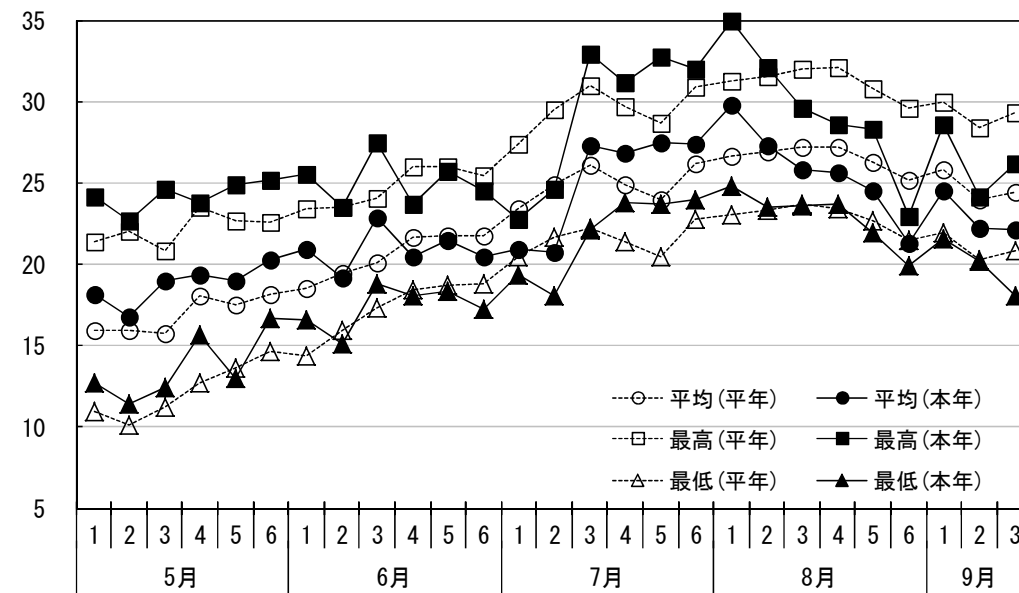
平成22～26年の5年間の平均値

【玄米外観品質】

その他は、その他未熟粒・被害粒・着色粒・死米を合計したもの
その他未熟粒とは、青未熟粒、乳白粒、心白粒、基部未熟粒、背白粒、
腹白粒以外の未熟粒をいい、一般に弱体な米粒で、その形態は種々である。例えば、粒が扁平なもの、縦溝が深く筋張っているもの、皮部が厚いもの等、総じて充実不十分なものをいう。

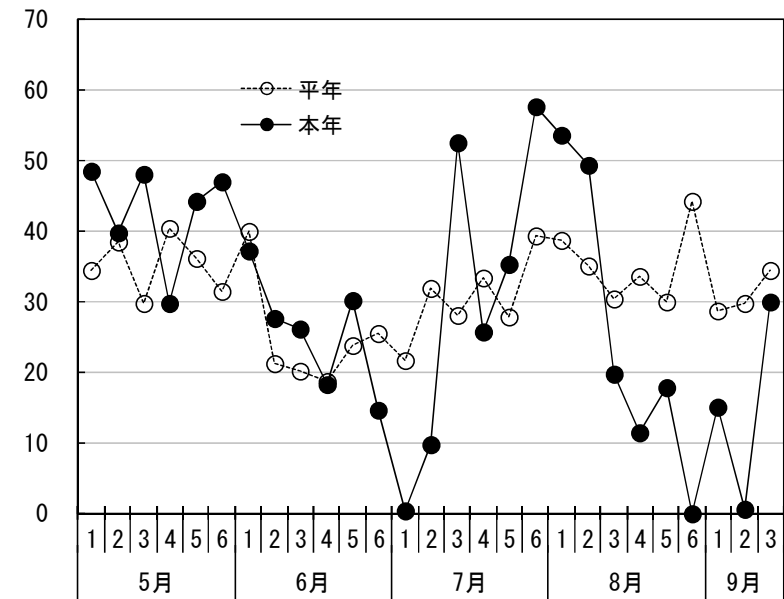
(°C)

気温の推移



(hr)

日照時間の推移

移植時期別の
気象条件

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
5月1日移植	5月第1半旬～9月第3半旬	22.7	22.5	0.2	3128.5	3108.4	20.1	788	845	93
5月11日移植	5月第3半旬～9月第3半旬	23.1	23.0	0.0	2953.5	2948.7	4.8	701	772	91